



風っ子・環境キャンペーン



サツマイモやスイートポテトを手にポーズをとるメンバー。手前はみんなで作った野菜

前橋市

農家に学ぶ無駄のない おいしい暮らし

あかぎキッズファーム

あかぎキッズファーム(三夜沢町)は、農家の仕事を通して私たちがおいしい野菜を

切さを学んだりするプログラムです。一昨年に誕生し、今は、3期生が元気に活動しています。

11月の活動日は、みんなで作ったサツマイモの試食会を開きました。畑で採れたサツマイモは、店先では見掛けのないような細いものから太いものまでさまざま。大きさもまちまちで重さが2.5kgという巨大なものもありました。「それぞれにふさわしい方法で調理します」と話すのは、スタッフの後閑修司さん。火の通りやすい細いものや小さいものは石焼きイモに、大きいものは、切って蒸かしてスイートポテトを作ります。

中には、表面がえぐられたようなものも。ネズミやモグラがかじった跡です。「切っただけ、残りは食べられるよ」とスタッフの渡辺しのぶさんが、お手本を見せます。こうすることでごみを増やすことなく、命を生かし切ることもできるのです。

門倉祭さん(前橋・荒牧小4年)は「嫌いだっただ野菜が



ホウレン草、小松菜、ダイコンなど冬野菜の種まきもしました

好きになり、食べ残しが減りました」と笑顔を見せます。「自分たちがまいた種から芽が出て育つ様子を見るのはうれしかった」と言うのは中島諒大さん(伊勢崎・三郷小5年)。それだけに「台風でやられたときは悔しかったが、被害を受けても育とうとする野菜の力強さに感動した」と話してくれました。

身近にできるエコ活動

生物多様性を考える

絶滅危惧種と言われる弱い生物もその種に適した環境下では力強く生存します。自然界は強烈な生存競争の世界です。生き物は皆、子孫を残すため懸命に活動をしています。しかし、強い人間のエゴ優先的社会活動がその弱者の生きる環境を破壊しているのです。現在問題となっている人間社会の「いじめ」も同じです。持続可能で強靱な多様性社会を作るために、絶滅危惧種にも目を向けましょう。

群馬県環境アドバイザー 下城茂夫

NPO法人まえばし農学舎

林智浩理事長
前橋市三夜沢町534
TEL: 027-283-2983
https://www.maebashi-ngs.com/

農業従事者を中心に構成。本物に触れる特別な経験を通して農業、食べ物、自然、地域のことを伝える活動をしています。来期メンバーの募集は来年3月から。



みんなで作ると
楽しいね

群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第30-111002号

風っ子・環境キャンペーン協賛社 (順不同)

角屋工業株式会社	ピックアップ	日産サテリオ群馬
桐生信用金庫	コーエー株式会社	New Sunpia Life Support Resort
トヨタレンタリース群馬	トヨタ部品群馬共販	上武印刷株式会社
ユーケーホーム (株) 浦野建設	JA全農ぐんま	群馬トヨペット
カネコ種苗株式会社	立見建設株式会社	株式会社 ソウワ・ディライト
	Sowa DELIGHT	総合住宅展示場 上毛新聞マイホームプラザ